

第16回 2022年6月6日（月）『税・財政ゼミナール』開講しました。

2022年6月6日（月）第16回『税・財政ゼミナール』が参加12名で開講されました。

地球における最大の問題と言ってもよい地球温暖化。この対策として注目されている「カーボンプライシング」について発表がありました。「炭素税」については、日本を中心に各国の制度が紹介されました。「排出量取引」については、「キャップ・アンド・トレード型」について、「枠」の割当方式として「グランドファザリング方式」「ベンチマーク方式」「オークション方式」などの説明があり、「クレジット型」について、「ベースライン・アンド・クレジット方式」の説明とクレジットの取引が機能するための制度の説明がありました。最後に各国間の制度の濃淡を調整するため、欧州で導入が進められている「炭素国境調整措置」に関する説明もありました。

脱原発やエネルギー価格の急激な上昇といった問題を抱えながらのCO2削減は簡単ではありませんが、これからの世代のためにも考え続けなければならない課題だと改めて感じました。

---

次回のゼミナールは、下記のとおり開講いたします。

第17回『税・財政ゼミナール』の日程は以下の通りです。

テーマ：『総合累進課税と金融所得』

所得が増えるに従い増加する担税力。この担税力に応じて税金を負担する所得税における累進課税制度は、今や世界の常識となっています。しかし、今の日本では所得が1億円を超えるあたりから租税負担率は減少して来ます。この大きな原因になっているのが、金融所得に対する定率かつ低率での課税。真に民主的な所得税を実現するために、この金融所得を総合課税の対象とすることの意義、課題などについて考えたいと思います。

日時：2022年11月7日（月） 14：00～17：00

※コロナ等の状況により変更となる場合がございます

会場：東京都新宿区四谷三栄町4番10号 税研ビル1階

応募：10月28日（金）までに下記の連絡先へお電話をください

氏名・連絡先を担当者へお伝えください

TEL 03-3359-4731 （担当者：荒川）

※テーマ等最新の情報は当ホームページ上でご確認下さい。

※税や財政に関して少しでも興味のある方、税や財政について知りたいと思われる方は、是非ご連絡をお願いいたします。